

平成28年度 第2回予防接種運営委員会 会議録

日 時	平成29年3月16日(木) 13:30~15:00
会 場	芦屋市医師会医療センター2階
出席者	委員長 高 義雄 委員 河盛 重造 委員 澤田 喜博 委員 荒谷 芳生 事務局 近田 真 瀬戸山 敏子
事務局	健康課
会議の公表	■ 公開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

議題

- 議題1 平成28年度予防接種実績について(資料1)
- 議題2 平成29年度予防接種実施計画について(資料2)
- 議題3 B型肝炎ワクチン接種状況について(資料3)

2 提出資料

- 資料1 平成28年度予防接種事業実績
- 資料2 平成29年度予防接種実施計画
- 資料3 B型肝炎ワクチン 実施状況調査

3 審議経過

(開会)

(事務局近田) 定刻になりましたので、少し早いですが平成28年度第2回予防接種運営委員会を開催いたします。本日は芦屋健康福祉事務所長の仲西委員と、こども・健康部長の三井委員が公務のため欠席させて頂いております。よろしくお願いいたします。

(事務局近田)

会議運営上のご説明をさせていただきます。芦屋市情報公開条例第9条により、会議は公開が原則となっております。本日の会議は公開とさせていただきます。また議事録

及び議事録中の発言者名につきましても公開とさせていただきます。議事録を正確に作成するため、レコーダーで録音させていただきたいと思っておりますので、ご了承のほどよろしく申し上げます。まず、お手元にあります資料の確認をお願いいたします。

それでは、高委員長、議事の進行につきましてよろしく申し上げます。

(高委員長挨拶)

(高委員長) それでは、議題に入ります。今日は3つの議題があります。平成28年度予防接種事業実績について、事務局から説明をお願いします。

(事務局瀬戸山) 平成28年度予防接種事業実績について説明いたします。

(資料1)の説明

(河盛委員) 広域的予防接種事業の高齢者インフルエンザの数ですが、住民票は神戸市にあり芦屋の施設に入っておられる方が含まれますか。

(事務局瀬戸山) 逆になります。芦屋市の住民が神戸市の施設に入っている数が含まれます。

(資料1)の説明

(高委員長) ありがとうございます。ただいまの報告について何かご質問はございませんか。

(河盛委員) MRのⅡ期ですが、1月2月のデータはありませんか。

(事務局瀬戸山) 本日は持参しておりません、すみません。

(河盛委員) 今のところ市民より接種出来なかったなどの問い合わせはありませんか。

(事務局瀬戸山) 今のところございません。

(河盛委員) 卸会社により持っているワクチンの数にかなり差があるようです。3月の末になつて(MRⅡ期を)接種できなかった人が出てきたらまずいなと思っているのですが。

(高委員長) このような事態に備えて特例は考えていますか。

(事務局瀬戸山) それは考えておりません。

(河盛委員) 今ぐらいの時期に電話で予約してもらえたらなんとかなるのですが、接種期限最後のぎりぎりになって予約せずに医療機関に行ってワクチンがない場合は困ると思います。ワクチンをたくさん持っている卸会社と取り引きがあればいいのですが、在庫がない卸会社のみと取り引きをしている医療機関は困るかと思えます。

それと、大学入学前にMRワクチン接種をする件についてですが、聞いた話によりますと今年が県が県内の大学に対してワクチン接種を止めるよう通知を出したにも関わらず接種希望者からどんどん問い合わせが入り、断っています。大学側はわかっているのでしょうか。

(事務局瀬戸山) そうですね、30日になってワクチンがなかったと問い合わせが入っても困ります。どこの医療機関にどれだけワクチンがあるのかは市でもわからないのでその時には相談させてもらっても良いでしょうか。

(河盛委員) わかりました。以前、京都市に住民票がある1歳のこどもの接種希望がありましたが、京都で接種してもらうように勧めたこともありました。

(高委員長) MRⅡ期についての問い合わせはないですか。

(事務局瀬戸山) 今のところ、ありません。おそらく、春休みに接種を考えておられる方もた

くさんおられると思います。そうなる問い合わせも入るかと思いますが、接種期限は個別通知にて伝えていきます。

(高委員長) ですが、保護者の方は期限内に医療機関に行けばワクチンがあると思っていますよ。MRが足りていないという事情は保護者の方は知りませんから、いつでも接種できると思っています。期限内に行かれた方に関しては、ワクチンがなかった場合の特例などを考えてはどうでしょうか。

(事務局近田) その件については考えさせてもらいます。

(事務局瀬戸山) なるべく皆さんに受けてもらいたいと思っています。

(高委員長) 対応について考えてください。

(事務局瀬戸山) 確かに31日夕方来られても困ります。情報がありましたらご連絡頂きたいと思いますのでよろしくお願いします。

(高委員長) その他にご意見はないですか。

(高委員長) 償還払いは全国一律ですか。

(事務局瀬戸山) 全国的なことはわかりませんが、芦屋市では県外の医療機関で支払った金額の領収書を持ってきてもらいこちらが定める額より低い額を支払っている場合は全額償還されることとなります。

(高委員長) ご質問がありましたら後からでも結構ですので、いったん次に進みます。

平成29年度予防接種実施計画について、事務局から説明をお願いします。

(事務局瀬戸山) 平成29年度予防接種実施計画について説明いたします。

(資料2)の説明

(河盛委員) B型肝炎の特例接種についてですが、延長期限はいつまでですか。

(事務局瀬戸山) 期限はそれぞれのお子さんで変わってくるのであえて載せてません。

(高委員長) それでは、事業計画についてのご質問はないでしょうか。

(澤田委員) 日本脳炎の特例措置は20歳まで接種可能ではないですか。

(事務局瀬戸山) そうです。18歳で日本脳炎の接種勧奨を行い、20歳までに接種完了してもらう目的です。

(澤田委員) さきほどのMRワクチンの件に戻りますが、就学前のお子さんがMRワクチンを希望されてワクチンがない場合、保健センターか医師会に電話連絡してくれたらよいですが、医療機関がその時点で対策をされず終わってしまうこともあると思います。反対に、ないことを言われてもどこの医療機関にワクチンがあるのかわからない状況だと思います。

(高委員長) そうですね。接種出来なかった場合は医療機関から保健センターに連絡してもらい、追跡調査をしてはどうですか。

(河盛委員) 時間外でない限り対応出来るかと思っています。

(高委員長) 各医療機関が断った人の名前を保健センターに報告するという事で統一してはどうですか。

(河盛委員) 保健センターがやっていない時間帯は医師会事務局に電話してもらえたらなんとかしてもらえるかと思っています。機転を利かせた対応を出来ればと思います。

(事務局瀬戸山) 接種出来ない人が出た場合は、市民から保健センターに電話連絡をして頂く

ことで良いですか。

(高委員長) 医師会でも良いかと思いますが、事務局のほうで対応をよろしくをお願いします。

29年度事業計画について他にございませんか。

(高委員長) 事業計画の内容は28年度の内容と変わりないですか。

(事務局瀬戸山) はい、変わりないです。医療機関は増えました。

(高委員長) 医療機関が増えたこと、日本脳炎の接種勧奨年齢の変更ですね。

(事務局瀬戸山) そうですね。

(河盛委員) ひょっとしたら6年生で接種している2種混合が3種混合に変わるかもという話があります。申請も通っているという情報があります。

(高委員長) もう少し先の話ですか。

(事務局瀬戸山) 今から製造に入るようですので2-3年先のようです。おそらく29年度に開始されることはないかと思えます。

(高委員長) 29年度に増えるワクチンがありますか。

(河盛委員) あるとしたらロタとおたふくかぜの2つかと思いますが、恐らく29年度はないと思えます。

(高委員長) それでは何かありましたら連絡をお願いします。次の議題に移ります。よろしくお願いします。

(事務局瀬戸山) 説明させていただきます。

(資料3)の説明

(事務局瀬戸山) 資料にはないのですが、B型肝炎の任意接種を含めての調査をしました。4か月健康診査時の問診時に予防接種歴を確認して母子管理カードに記入しています。その記録をたどりますと平成28年4月生まれから10月生まれまでの1回目2回目それぞれの接種率は90%を超えていました。おそらく先ほどの1歳を過ぎて3回目を受けるのは10~20人ほどではないかと思えます。

(河盛委員) B型肝炎だけ接種していない方はいますか。

(事務局瀬戸山) それは把握しておりません。

(河盛委員) 10月1日に1回目を接種すると、2月の終わりごろに3回目接種の時期になります。今のところ順調に進んでいる印象ですが、今後風邪を引いたなどアクシデントがある場合は特例措置が使えると思えます。

(高委員長) 先ほどの接種率の報告ですが、90%を超えていて高い数字ですね。

(事務局瀬戸山) はい、そうですね。

(河盛委員) B型肝炎のワクチンは感染したことを想定すると、1人につき治療費が数億円かかるのに対して、予防接種は数千円です。ロタワクチンは海外では数百円で接種できるワクチンです。本当に必要なこどもは発展途上国のこども達です。発展途上国のこどもの死亡原因は下痢が一番多いのが現状です。彼らのワクチン料を先進国が負担しているから高額になっていますが仕方がないことだと思います。半分補助するなどの政策が出される可能性はあるかと思えます。

(事務局瀬戸山) ひとつ質問です。1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査でB型肝炎を接種

していないお子さんの保護者より定期接種になっているから接種したほうがいいですか、と質問を受けることがあります。接種するように勧めています。これでよろしいのでしょうか。

(河盛委員) それでいいと思います。6年生で接種した方が良いという意見も元々あります。といいますのも、感染者のほとんどが性行為での感染です。思春期こそ接種勧奨すべきワクチンであると思います。

(事務局瀬戸山) B型肝炎のワクチンは感染したことを想定すると、1人につき治療費が数億円かかるという話を聞いて皆接種した方が良いのではと思い質問させていただきました。ありがとうございました。

(澤田委員) B型肝炎を優先されるとヒブ、肺炎球菌、4種混合の接種率に影響はないですか。

(事務局瀬戸山) 同時接種されていますので問題ないかと思います。

(高委員長) 他にないかありませんか。

(事務局瀬戸山) 予防接種事業を医師会に委託させてもらい、円滑に進めているのですが、昨年、県に2件の誤接種の報告をしました。2件とも水痘の接種間隔に関するものでして、1回目接種から3か月以上あけて2回目接種というものを12週目に接種してしまい3か月未満で接種してしまった症例です。接種間隔を十分あけていただけたらと思います。

(高委員長) そのほかは何かありますか。

(河盛委員) こどもの肺炎球菌の間違いはありますか。

(事務局瀬戸山) ありませんでした。

(高委員長) これで一旦閉会とさせていただきます。事務局にお返しします。

(事務局近田) ありがとうございました。次回の開催はに6月頃を予定していますので、近くになりましたらご案内を差し上げますのでどうぞよろしくお願いいたします。本日の予防接種運営委員会はこれで終了とさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

(閉会)